

シンポジウム

# あしたの アジア

歴史がわたしたちに教えてくれることはなんですか？

沖縄、広島、長崎、カンボジア、韓国、台湾、ベトナムの7地域の大学生が集い、  
過去からみえる「あしたのアジアをよくするヒント」について考えます。

入場無料

11月23日(土)

ともかぜ振興会館 多目的ホール

2:00pm - 4:30pm (開場 1:30pm)

第2部モデレーター

新垣 誠 氏 (沖縄キリスト教学院大学 教授)

## 過去の参加者の声

自分の変化が感じられました。学んだことを自国の若者たちと共有し、平和をもたらすために尽力したいです。  
(カンボジア)

同世代と意見交換することで、さまざまな視点から沖縄の問題、各地の問題をみるできるようになりました。  
(沖縄)

私は日本に偏見を持っていました。けれど、みんなと話を共有し、それが間違っていたと気づきました。  
(韓国)

本当に言葉で言い表せないほどいい経験をしたし、たくさん学びがあったし、さまざまな刺激を受けました。  
(広島)

主催 沖縄県 (主管) 沖縄県平和祈念資料館

お問い合わせ 特定非営利活動法人  
沖縄平和協力センター  
Okinawa Peace Assistance Center (OPAC)

☎ 098-866-4635

✉ higuchi@opac.or.jp (樋口)

# あしたの アジア

過去の教訓は「あしたのアジア」を明るく照らす英知に満ちている。しかし、無関心のままでは英知に触れることはかない。若い私たちだからこそ、無関心という覆いを突き破るための力がある。いま伝える私たちなりの方法論。

## 「平和への思い(ウムイ)」発信・交流・継承事業とは

本事業は、若い世代への戦争体験などの継承、アジア諸国との相互理解、平和のためのネットワーク形成を目指した沖縄県主催の人材育成事業です。6回目となる今年度は、沖縄、広島、長崎、カンボジア、韓国、台湾、ベトナムからの大学生が事前研修を行ったのち沖縄に集い、県内での視察や意見交換を行いました。

**事前研修期間** 令和6年9月～11月（各地で起きた戦争・事件等に関する学習）

**事前研修テーマ** 沖縄戦（沖縄）、広島における原爆投下（広島）、長崎における原爆投下（長崎）、カンボジア大虐殺/ポル・ポト政権下の大虐殺（カンボジア）、濟州島4.3事件（韓国）、2.28事件（台湾）、ベトナム戦争（ベトナム）

**共同学習期間** 令和6年11月17日～24日（7泊8日）

**共同学習概要**

- ① 各地域の戦争・紛争等に関するプレゼンテーションおよび安全保障に関する特別講義
- ② 県内視察（沖縄県平和祈念資料館、平和の礎、首里城公園、第32軍司令部壕跡、佐喜真美術館、コザゲート通り）
- ③ 交流および意見交換会（チームビルディング・ワークショップ、県内アーティストとの意見交換、事業OBOGとの交流、グループディスカッション）

## スケジュール

○ 2:00 開会

### ■ 第1部

○ 2:10～ プレゼンテーション

3:10 7地域の大学生が沖縄で得た学びや、発信についての考えを発表します。  
来場者には、大学生が作成した事前研修テーマに関する資料を配布します。

登壇者：沖縄県、広島県、長崎県、カンボジア、韓国、台湾、ベトナムからの「平和への思い(ウムイ)発信・交流・継承事業」参加者

### ■ 第2部

○ 3:20～ パネルディスカッション〈ゆさぶれ!無関心〉

モデレーター：新垣 誠 氏（沖縄キリスト教学院大学 教授）

○ 4:30 閉会

**言語** 日本語（逐次通訳あり）  
**入場料** 無 料（事前お申し込み不要）  
**会場** ともかぜ振興会館 多目的ホール  
那覇市金城3-5-3（那覇西高校裏）  
ゆいレール小禄駅より徒歩5分  
那覇西高校前バス停より徒歩5分

### ご来場にあたって

シンポジウムで撮影された動画・写真の一部は本事業報告書等への掲載を予定しております。あらかじめご了承ください。  
お越しの際は、会場敷地内の駐車場または公共交通機関をご利用ください。



事業特設ページ▶

